

京都創造者賞

アート・文化部門

公益財団法人四条町大船鉾保存会

「大船鉾」の復興に尽力



講評 1864年の蛤御門の変によって焼失し「休み鉾」となっていた大船鉾は、今夏の祇園祭の後祭の山鉾巡行で150年ぶりの復興を果たした。千年以上にわたる祭りの格を守りつつ、現代工芸の粋を凝らして鉾を復興するということは、多くの関係者の長年にわたる創意溢れる活動の膨大な集積と調和ある統合があつたこと。その点を評価し、アート・文化部門での創造者賞を呈することとした。今はまだ白木の屋形に、やがて飾り金具や漆塗りなどの装飾も施され、大船鉾がさらに輝きを増す日が待たれる。

もてなし・環境部門

特定非営利活動法人赤煉瓦倶楽部舞鶴

舞鶴市内に残る赤煉瓦建造物の保存・活用のための活動



講評 舞鶴の赤煉瓦建造物の保存活動は、舞鶴市役所の有志者が始められ、舞鶴市民の共感や参画を得ることで次第に大きな流れとなり、2008年に北吸地区赤煉瓦倉庫群7棟が国の重要文化財に指定され、2012年には「舞鶴赤れんがパーク」の実現に至った。この草の根活動に支えられた創意溢れる文化事業の積み重ねを評価し、もてなし・環境部門での創造者賞を呈することとした。市民の憩いの場であるとともに、「海の京都」の玄関として、舞鶴の文化と観光の創造の拠点となるよう、さらなる持続発展を期待している。

未来への飛翔部門

「京のエジソンプログラム」推進協議会

子どもたちの科学に対する意識を高め、これからの科学技術を担う人材を育成



講評 乙訓地区の小学生が未来の科学者、技術者に育つことを願い、10年にわたり、教育界と産業界が共同で企画し、同地区や京都市内の先端科学技術の現場へ子どもたちを招き、ものづくりを体験させるなど、ユニークな教育の場を提供してきた。毎年約20回の開催、参加生徒数は年間1000名を優に超える。創造性をはぐむこのような活動の持続に対して、未来への飛翔部門の創造者賞を呈することとした。「京のエジソン」たちのために、活動の輪がさらに広がることを期待したい。

企業部門

農業生産法人こと京都株式会社

京都の伝統野菜の安全安心な生産と消費の拡大による農業の6次産業化モデルを確立



講評 少子高齢化社会を迎え、農業の担い手や食糧自給率が低下する中、同社のビジネスモデルは、京の伝統野菜である「九条ねぎ」に着目し、提携農家を拡張しながら、生産計画に基づき、安全安心な食材の安定供給に努めるとともに、国内農業の革新につながるものであり、企業部門での創造者賞を呈することとした。全国のねぎを取り扱う子会社「こと日本株式会社」による展開も注目され、京野菜をはじめ各地産野菜の個性を保つ工夫も含めて、今後のさらなる発展を期待している。

京都創造者大賞 2014

～創造が生み出す伝統～

和装の美しさを国内外に発信する 西陣織工業組合を 大賞に決定

京都創造者大賞顕彰委員会(委員長:千玄室・裏千家大宗匠)、京都府、京都市、本所では、今年8回目を迎えた「京都創造者大賞」の受賞者を決定し、9月11日に龍谷大学響都ホール校友会館において授賞式を開催しました。同賞は、「京都ブランド」のイメージアップや京都の都市格向上に著しく貢献している個人や法人、団体、及びその商品や作品、技術、サービスなどを、オール京都により「創造者」として称え、その功績を国内外に発信することを目的としており、「大賞」をはじめ、「もてなし・環境」、「アート・文化」、「企業」、「未来への飛翔」の各部門賞の受賞者を選出しました。

応募状況

応募総数 248 件 (自薦 26件 / 他薦 222件)	
もてなし・環境部門 47件 (自薦 2件 / 他薦 45件)	企業部門 70件 (自薦 8件 / 他薦 62件)
アート・文化部門 85件 (自薦 11件 / 他薦 74件)	未来への飛翔部門 46件 (自薦 5件 / 他薦 41件)

京都創造者大賞事務局 (本所 産業振興部内) TEL 075-212-6450 FAX 075-255-0428 E-mail taisyo@kyo.or.jp

京都創造者大賞

西陣織工業組合

西陣織をはじめ、和装の美しさ、歴史等を広く発信



講評 西陣織の組合の歴史は長い、「西陣」の名がうまれて500年目の1967年に、多様な業種の協業体制を大きくまとめあげ、新時代を画された。以来、証紙や商標による産地ブランド化への取り組み、西陣織会館での「きものショー」実施や「西陣織の実演」により、国内外の観光客やきものファンを魅了するなど、長年にわたる創造的な活動の積み重ねにより、和の装いの世界を支えられたことを高く評価し、大賞を呈することとした。日本を代表する織物産地西陣は、多彩な京文化が凝縮する地域であり、同組合の活動が京都経済に及ぼす効果も大きい。今後とも、「西陣」「西陣織」という比類なき京都ブランドを国内外へ広められ、都市格向上に寄与されることを期待している。

